

## 論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第 425 号	氏名	六 倉 和 生
学位審査委員	主 査	上 平 憲	
	副 査	丹 羽 正 美	
	副 査	小 澤 寛 樹	
論文審査の結果の要旨			
<p>1 研究目的の評価</p> <p>本研究は、最近、家族性 Creutzfeldt-Jakob Disease (CJD) の早期診断に有用とされている <b>magnetic resonance imaging (MRI)</b> の拡散強調画像 (DWI) における高信号を反映する病態を実証的に明らかにしようとするもので、目的は十分に妥当である。</p>			
<p>2 研究手法に関する評価</p> <p>脳生検を実施した 1 例を含む 3 例の家族性 CJD を対象に、髄液・画像・病理学的所見について、過去の自験例の家族性ないし孤発性 CJD の所見と比較する解析・研究手法も妥当である。</p>			
<p>3 解析・考察の評価</p> <p>家族性 CJD における DWI の高信号の所見は主に海綿状変化を反映していると考察し、この生検した 1 例における結論を補足する解析結果も適格であり、今後、この所見を基準にした画像検査への活用が大いに期待される。</p>			
<p>以上のように本論文は臨床神経病理学的研究に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士 (医学) の学位に値するものと判断した。</p>			